

入社当時(S49年)、まだ揺籃期であったOR部門に配属されて以来、一貫して「鉄鋼の実践的OR」にたずさわっています。最初のテーマが「輸入原料配船調整システム(シミュレーション・モデル)」であり、次に「継目無管材料取合せ」「車輪圧延ライン操業計画(スケジューリング)」を担当。S53年から目を経営計画分野に転じ、「最適プロダクト・ミックス」「経営データ解析」「オーダー配分モデル」「短期需要予測システム」「販売計画システム」を開発してきました。

みずからの活動領域を広げることを第1に、およそORの分野とよばれるものには積極・果敢(?)に挑戦してきました。最近、これらを「原料計画(大規模数理計画)」「厚板操業計画(多品種スケジューリング)」「経営

計画(多目的計画)」の3つに集約中であり、新しい展開を狙っています。

企業内の「実践のOR」において重要なことは、「実データをじっくり眺め、問題の本質を探り、機会損失を定量化する過程(いわばResearch)」であって、手法の開発は第二義的なもののようです。またテーマの選択に当っては、船・トラック・素材等の動く対象物を扱うほうが興味深く、効果も明確ですが、今後は、操業基準・材料標準・管理体系等の目にみえて動かないものを扱うことが不可欠のようです。

いずれにしても、「実践のOR」には、人と人との信頼感が大切であって、「まごころのこもった対応(茶道という“敬”)」が実は、ORの真髄(?)ではないかと感じる昨今です。

会合記録

()内は人数

編集委員会 (OR誌)	6月8日(水) (15)
秋季大会実行委員会	6月9日(木) (5)
モニター委員会	6月13日(月) (3)

編集委員会 (論文誌)	6月21日(火) (4)
IAOR委員会	6月27日(月) (2)
秋季大会実行委員会	6月29日(水) (5)
研究小委員会	6月29日(水) (6)
庶務幹事会	6月30日(木) (7)

編集後記▶冬空冷い昨年の冬に構想をまとめ、発行にむけてご協力いただいたきた本号を、ここに会員、読者の皆様のお手もとに届けることができました。時あたかも盛夏、思えばこの1冊を世に送り出すにあたり、執筆、編集、研究普及等の委員、モニター、学会事務局、割り付け、印刷、広告など実に多くの方々の努力が続けられたことを考える時、感謝の念で一杯です。▶この間に事務局では、退職された平井嬢に代って、寺地嬢にOR誌を担当していただくことになりました。また、長谷川嬢が新しく事務局に加わり、鈴木事務局長とともに、トリオを組みました。▶およそ物事をなすには、その結

果の評価をとまいません。本誌の場合、研究普及委員会から委嘱されている半年任期のモニターの方々のご意見が重要な羅針盤となっています。しかし、学際的な会員の性格上、特集テーマの希望は実に広範にわたり、それだけ本誌の編集をむずかしくしています。しかし、本誌の編集もアイデアの勝負! 不動産広告流に言えば、意見、投稿歓迎、半ページ、1ページ可。成功談、失敗談いずれも可。パソコンによるOR、理論の応用、トップへの売りこみ法……。 “みんなで参加、みんなで作ろうOR誌” (Y)

オペレーションズ・リサーチ

昭和58年8月号 第28巻 (新シリーズ第8巻) 8号 通巻272号
 代表者 横山勝義
 発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
 (電話 03-815-3351~2) 〒113
 編集人 牧野都治
 発売所 株式会社 日科技連出版社
 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 850円 (郵送料含) 年間予約購読料 9600円 (郵送料含)

本誌への広告お申し込みは明報社 (571-2548)、日経弘報社 (563-2241) へ